

(2) 損傷状況

平成20年度及び21年度点検橋梁の損傷（軽微な損傷も含む）については以下の傾向がみられます。

- 橋梁主構造（上部工・下部工）の損傷が多く見受けられます。
（全橋梁41橋 → 損傷橋梁28橋 割合68%）
- 路面のクラック、凹凸及び高欄、防護柵の損傷が数橋に見受けられます。
（全橋梁41橋 → 損傷橋梁7橋 割合17%）

○損傷状況



主桁腐食



床版鉄筋露出



下部工ひびわれ



支承機能障害